

関西大学大学院外国語教育学研究科 主催 講演会

これからの英語教育を考える： AIの活用そして評価の行方

2024年 10月 26日（土）

第1部・第2部 13:30～16:30 受付開始 13:00



関西大学東京センター

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー9階

○対面のみ ○参加費無料 ○事前申込制 定員100名（先着順）

本セミナーでは、講演者から①今後のデジタル教科書の活用方法や、②観点別評価の実践課題について話題提供を行い、外国語科の指導と評価において、検定教科書がどのような役割を果たすのか、今後どのような展望が開けるのかを議論したい。

現行の学習指導要領に基づいた外国語科の授業における検定教科書（デジタル教科書）の活用方法、また単元構成を踏まえた指導と評価の実施による「指導と評価の一体化」について、現状の成果と課題について議論した後、フロアとの交流を通して、今後の教科書やそれを用いた指導と評価について、どのような変革が学校教育にもたらされるかについて議論し、参加者がこれからの英語教育に明るい展望を抱けることを目指したい。



今井 裕之（いまい・ひろゆき）

関西大学 外国語学部、外国語教育学研究科 教授
専門分野は英語教育学（英語授業研究、

L2 Teacher Professional Development、
スピーキング評価と指導）

主な著書に『リフレクティブな英語教育をめざして：
教師の語りが拓く授業研究』（ひつじ書房）

『「学ぶ・教える・考える」ための実践的英語科教育
法』（大修館書店）『HOPE: 中高生のための英語スピー
キングテスト』（教育出版）などがある。小中高の
検定教科書の編集委員でもある。

竹内 理（たけうち・おさむ）

関西大学大学院 外国語教育学研究科・教授、
博士（学校教育学）

専門分野は英語教育学（学習方略、自己調整学習、
動機づけ）および ICT の教育利用

主な著書に『より良い外国語学習法を求めて』『外国
語教育研究ハンドブック』（松柏社）などがある。

Applied Linguistics, IRAL, Innovation in
Language Learning and Teaching, RELC Journal,
System.などの国際ジャーナルにも論文多数。小中高
の検定教科書の編集委員や大阪府教育委員も務める。

Schedule:

【第1部】

講演会1 「AI時代の英語教育」 講演者：竹内 理

講演会2 「観点別評価の行方」 講演者：今井 裕之

【第2部】

フロアディスカッション

登壇者：竹内 理

今井 裕之

司 会：池田 真生子

Sign up here:

○申込締切：10月13日（日）

○申込フォーム：

<https://forms.office.com/r/fcsH64C7y1>

